

TSE:9531

2025年度（2026年3月期） 決算説明会

2026年4月28日

Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.





目次

1	企業価値向上への 取り組み	1-1 2028年度ROE9%目標達成に向けた進捗
		1-2 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて」 振り返り
		1-3 セグメント別ROIC
2	決算概要	2-1 決算概要
		2-2 株主還元について
		2-3 連結貸借対照表
		2-4 キャッシュアロケーション
3	補足資料	3-1 セグメント概況
		3-2 実績 対 前年度
		3-3 見通し 対 前年度
		3-4 2023-2025年度中計投資計画・実績
		3-5 資産構成の変化
		3-6 原油価格・為替レート変動の粗利影響感度（都市ガス）
		3-7 原油価格・為替レート・気温
		3-8 タイムラグ差損益（都市ガス）

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

1 企業価値向上への取り組み

【1-1 2028年度ROE9%目標達成に向けた進捗】														
2025年度 実績		2026年度 見通し												
ROE 13.2%		ROE 8.0%												
当期純利益 2,268億円 セグメント利益 2,011億円	・特別利益の剥落により当期純利益は減益。本業ベース（セグメント利益）ではガス料金適正化や都市ビジネスのホテル通年稼働等を見込むものの、若干の減益。	当期純利益 1,370億円 セグメント利益 1,950億円												
D/Eレシオ 0.74	・資本効率を意識した経営のもと、資産入替や負債活用で生み出した資金を、成長領域への投資と株主還元の双方に配分	D/Eレシオ 0.85												
<table border="1"> <tr><td>総資産</td><td>38,922億円</td></tr> <tr><td>有利子負債</td><td>12,772億円</td></tr> <tr><td>自己資本 (期央値)</td><td>17,174億円 (17,214億円)</td></tr> </table>	総資産	38,922億円	有利子負債	12,772億円	自己資本 (期央値)	17,174億円 (17,214億円)	<p style="text-align: center;">総資産</p> <p>□事業ポートフォリオ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資 4,777億円 資産/事業売却等 632億円 <p style="text-align: center;">自己資本</p> <p>□EPS成長に合わせた増配： 2603期 110円/株（←前回見通し100円/株） 2703期予想 120円/株</p> <p>□自己資本コントロールのための自己株式取得： 上期 500億円</p> <p style="text-align: center;">CF</p> <p>営業CF※1 3,980億円 投資CF（回収分控除後）▲4,145億円 FCF ▲165億円</p>	<table border="1"> <tr><td>総資産</td><td>39,560億円</td></tr> <tr><td>有利子負債</td><td>14,530億円</td></tr> <tr><td>自己資本 (期央値)</td><td>17,040億円 (17,107億円)</td></tr> </table>	総資産	39,560億円	有利子負債	14,530億円	自己資本 (期央値)	17,040億円 (17,107億円)
総資産	38,922億円													
有利子負債	12,772億円													
自己資本 (期央値)	17,174億円 (17,214億円)													
総資産	39,560億円													
有利子負債	14,530億円													
自己資本 (期央値)	17,040億円 (17,107億円)													
※1 純利益+減価償却費で算定														
  Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. 4														

前中計の最終年度であった25年度実績は、当期純利益2,268億円、ROEは中計目標の8%を大きく上回るROE13.2%となりました。これまで株主・投資家の皆さまと重ねてきた対話もふまえ、資本コストや株価を意識し、資本効率の改善を軸とした取り組みを進めるとともに、26-28中計も策定してまいりました。

4月よりスタートした26年度は26-28中計の初年度となります。この3年間はその先の2030年を見据え、成長をさらに加速させるための重要な期間となります。今中計では、最終年度である28年度の「ROE9%」を最重要指標に掲げました。26年度は、その達成を確実なものとするための「足固めの年」と位置付けています。

25年度はROE目標を達成しましたが、その利益には一時的な利益が多く含まれています。28年度にROE9%を着実に達成するためには、「稼ぐ力」を一段と引き上げていくことが不可欠です。

26年度の利益計画は、セグメント利益ベースでは、電力事業での足元の市況影響による調達単価増等により前年から61億円減の1,950億円、当期純利益は1,370億円を見込んでおりますが、中計に掲げた諸施策を着実に実行し、収益の改善を進めるとともに「ROE8%」の目標にはこだわりを持って達成してまいります。

なお、今回の計画策定にあたっては、足元の中東情勢に伴うマクロ環境変化の影響を、一定程度織り込んでおります。これまで各部門において事業への影響やリスクを洗い出しており、今のところエネルギーの安定供給に支障は無いことを確認しております。一方で、長期化した場合には、収支面も含めて現状の想定以上の影響も考えられるため、今後も引き続き動向を注視し、必要な対応を機動的に実行してまいります。

中計の取り組みを進めていく中で要となるのが、「R O I C - W A C C 管理を用いた事業ポートフォリオ経営」の高度化です。各事業のR O I C 目標を確実に達成し、資本コストを上回るスプレッドを確保・拡大していく。これを徹底することで、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

株主還元については、この度、累進配当により中長期的な成長の成果を安定的に還元していく方針のもと、近年の利益成長や自己株式取得による株数減に伴うE P S 上昇を踏まえ、25年度の年間配当を従来から10円増配となる110円／株、26年度の配当予想を120円／株といたします。併せて資本効率のさらなる向上を目指し、上期中に500億円の自己株式取得を行うことを決定いたしました。

【1-2 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて」振り返り（1）】

【課題認識】

- 23-25中計ではROE8%を最重要指標と位置付け経営高度化を推進する一方、一時的な利益による自己資本の増加やPBR1倍割れ、ROE水準への資本市場の懸念を踏まえ、資本効率の改善を重要課題と認識。
- 当該認識を踏まえ、2024年10月に機動的な自己株式取得の実施を公表。

【方針の明示】

- 株主資本コストを安定的に上回るROEの実現に向け、2025年3月に、次期中期経営計画の骨子として、ROE改善を中核とする「持続的な企業価値向上に向けた取組方針」を公表。

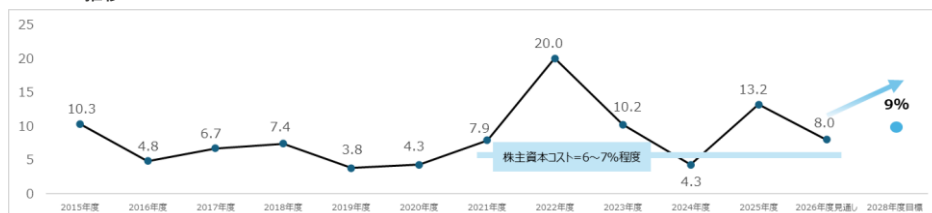
【対話】

- 上述「取組方針」をもとにした投資家との対話を通じて、2026年度以降の持続的な利益成長を実現する成長ストーリーの明確化や、キャピタルリサイクルを含む資本政策の具体化に対する強い期待を認識。
- 対話を通じて、株主資本コストは6~7%程度と認識。

【対話を踏まえた深化・新たな方針の明示】

- ROEを最重要指標としつつ、そのドライバーであるROICを用いたポートフォリオマネジメントの導入、キャッシュアロケーションの可視化、資本構成の適正化を一体的に推進する方針を決定。
- 株主資本コストを踏まえ、十分なエクイティスプレッドの確保を意識した2028年度ROE9%の達成を目指し、2025年10月に26-28中期経営計画を公表。

■ROEの推移



【1-2 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて」振り返り（2）】

ROE向上に向けたこれまでの具体的な取り組み

①事業PF改革による収益性・資本効率の改善

- 豪州上流権益売却・北米シェール資産（ロッククリフ・シェブロン資産）の拡大を通じ、成長領域へのシフトを推進
- シェール資産の入替（イーグルフォード、テリービル売却等）を実施し、操業コストを低減・収益率強化
- 政策保有株の縮減、不動産売却・流動化、非コア資産売却を推進（GINZA gCUBE、賃貸不動産REIT組み入れ、リース会社売却等）
- セグメント別ROIC-WACC管理を導入し、収益性の可視化を実施

②資本構成最適化によるレバレッジ活用

- 機動的な自己株取得を実施し、資本効率を改善（2024年度:1,200億円、2025年度:2,000億円）
- 配当方針の明確化により株主還元の見込を向上（累進配当明言、2028年度配当目標140円/株の提示）
- エネルギーインフラ企業としての安定供給責任の下、GX・DX投資や有事に備えた財務余力とリスク耐性を確保。これを支える財務基盤としてAA格を維持しつつ、成長投資に備えた資金調達余力を確保し、資本コストとのバランスを踏まえたDEレシオ管理により資本構成を最適化

持続的な企業価値向上の実行基盤

③成長投資の規律強化

- 26-28期間におけるキャッシュアロケーション方針を明確化
- 資本コストを上回る案件に厳選し、各カンパニーの投資枠を超過する場合にはキャピタルサイクルを前提とした投資規律を徹底

④ガバナンス強化

- 各委員会の委員長に社外取締役を据え、経営監督機能の独立性・実効性を強化
- 企業価値向上委員会を設置し、資本市場目線を踏まえた戦略レビュー機能を高度化
- 役員報酬の業績連動比率を引上げ、企業価値向上との連動性を強化
- 幹部層への株式報酬導入を進め、株主との利害一致を強化

⑤IR・対話・開示高度化

- IR統括部長の設置により、投資家との対話の質・量を向上
- 事業説明会（海外・不動産）の実施により、投資家サイドの弊社事業理解を深化
- シェールガス事業におけるHH価格感度や不動産マイルストーンの開示充実により、業績の透明性を向上

今後も分析・方針策定・対話・改善の循環を通じて、株主資本コストの低減および資本効率の持続的な向上を図り、エクイティスプレッドの拡大を目指す。

【1-3 セグメント別ROIC】

(単位：億円)

	25年度実績		26年度見通し		28年度計画		期間WACC
	投下資本	ROIC	投下資本	ROIC	投下資本	ROIC	
エネルギー（電力・ガス）	14,157	6.9%	14,074	6.4%	13,000	6.0%	3.0%
ソリューション	2,609	5.2%	2,744	4.1%	4,100	5.0%	4.0%
海外 (下段括弧内は上流のみ)	8,125	8.3% (11.6%)	8,076	7.6% (9.3%)	9,000	7.0% (9.0%)	8.0% (8.5%)
都市ビジネス (不動産売却益含む)	2,739	12.2%	2,822	6.7%	3,100	8.0%	4.0%
全社	30,281	6.3%	30,758	4.7%	30,200	5.0%	3.5%

2

決算概要

【2-1 決算概要】2025年度実績 サマリー				詳細はP.22
<ul style="list-style-type: none"> 前中期経営計画最終年度となる2025年度は、2024年度比増収増益。 セグメント利益は、北米シェール収益の安定化による「海外」の増益、電力の販売量増・料金適正化による単価差増およびガスの優位な調達やタイムラグ影響に伴う単価差増による「エネルギー・ソリューション」の増益を受けて、2024年度比625億円増の増益。 当期純利益についても、不動産等の固定資産売却の加速、および東京ガスオーストラリア社の解散決議に伴う特別利益（為替換算調整勘定取崩益）の計上等により、2024年度比1,527億円の増益。 				
(単位：億円)				
	2025年度 実績	2024年度 実績	増減	主な増減要因
売上高	28,347	26,368	1,979	
営業利益	1,976	1,330	646	
セグメント利益（営業利益+持分法損益）	2,011	1,386	625	
エネルギー・ソリューション	1,502	1,217	285	ガス：優位な調達やタイムラグ影響に伴う単価差等による利益増等 電力：件数増や夏場の高気温影響による小売の販売量増、電源固定費減、容量市場影響による利益増等
ネットワーク	41	▲31	72	託送供給収益増、減価償却費減等
海外	738	228	510	北米シェールガス事業の販売単価上昇による利益増等
都市ビジネス	97	240	▲143	不動産販売の収益減、ホテル改修・改装に関する費用増等
経常利益	1,937	1,135	802	
特別損益	954	▲73	1,027	東京ガスオーストラリア社の解散決議に伴う為替換算調整勘定取崩益の計上による増益、固定資産（不動産）売却による増益、一部国内再エネ事業で減損が発生したことによる減益等
親会社株主に帰属する当期純利益	2,268	741	1,527	

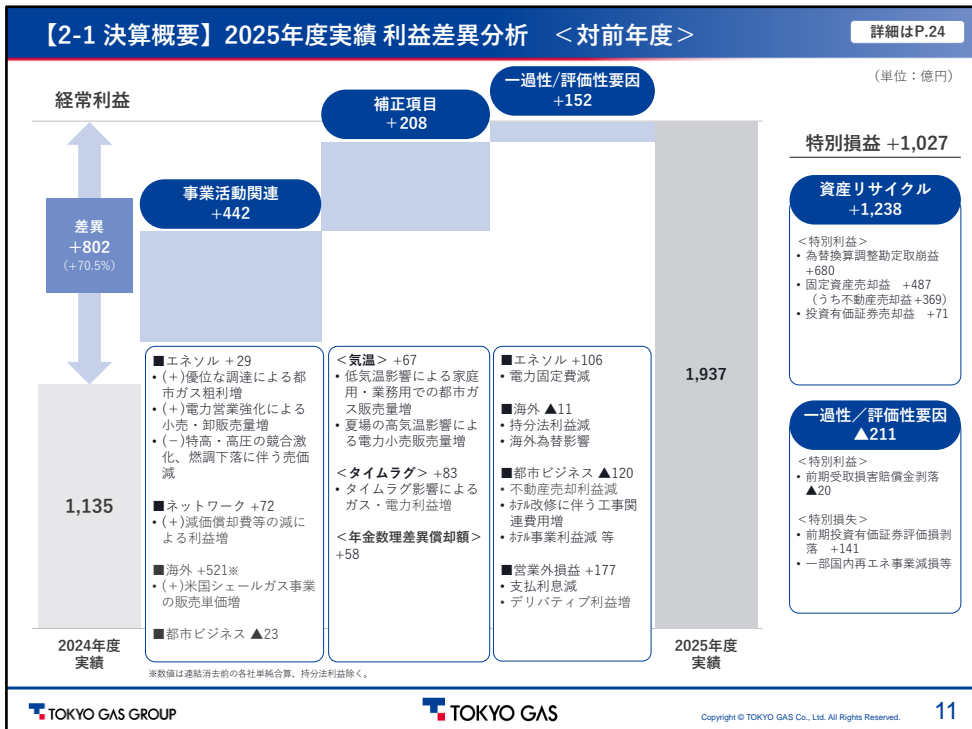
2025年度の業績は「増収増益」となりました。売上高は1,979億円増の2兆8,347億円、セグメント利益は625億円増の2,011億円となりました。「エネルギー・ソリューション」セグメントでは、ガスにおいて工業用・卸供給の減少によりガス販売量は微減であったものの、主に家庭用における低気温に伴う気温影響等により利益増となったほか、電力において販売量増加や前年度に発生した一過性の費用の剥落等により、285億円増の1,502億円となりました。

「ネットワーク」セグメントは託送供給収益の増加により、72億円増の41億円の着地となりました。

「海外」セグメントは北米シェールガス事業の市場価格上昇に伴う販売単価上昇により510億円増の738億円となりました。

「都市ビジネス」セグメントは不動産販売収益の減少やホテルリノベーションに伴う費用増等により、▲143億円減の97億円となりました。

特別損益は、東京ガスオーストラリア社の解散決議に伴う特別利益や北米上流資産等の売却益、不動産売却に伴う固定資産売却益を計上したほか、一部国内再エネ事業の減損損失等を計上し、954億円となりました。これにより親会社株主に帰属する当期純利益は、1,527億円増の2,268億円となりました。



利益の増減を要因別にお示ししております。

【2-1 決算概要】 2026年度見通し

詳細はP.30

- ・ 足元の中東情勢を一定程度織り込み、見通しを策定（JCC：上期\$100/bbl、下期\$70/bbl）。
- ・ 好調な北米シェールガス事業に加え北米中下流事業の持ち直しによる「海外」およびホテル通年稼働等による「都市ビジネス」の増益を見込む。一方で、「エネルギー・ソリューション」については、ガス料金適正化等による増益要因があるものの、電力のJEPX高による調達単価増や電源固定費増等を見込み、減益。結果として、セグメント利益は減益。
- ・ 2025年度に計上した為替換算調整勘定取崩益や不動産売却益の剥落による特別利益の減益により、当期純利益は2025年度比898億円減の1,370億円の見通し。

(単位：億円)

	2026年度 見通し	2025年度 実績	増減	主な増減要因
売上高	29,470	28,347	1,123	
営業利益	1,860	1,976	▲ 116	
セグメント利益（営業利益+持分法損益）	1,950	2,011	▲ 61	
エネルギー・ソリューション	1,402	1,502	▲ 100	ガス：料金適正化、一過性費用の剥落等による利益増 電力：調達単価増、電源固定費増等による利益減
ネットワーク	12	41	▲ 29	固定費増等による利益減
海外	769	738	31	一過性利益悪化要因の解消による持分法利益増等
都市ビジネス	180	97	83	ホテル改修工事完了およびホテル通年稼働等による利益増
経常利益	1,730	1,937	▲ 207	
特別損益	171	954	▲ 783	前期に計上した為替換算調整勘定取崩益、不動産売却益の剥落等による利益減
親会社株主に帰属する当期純利益	1,370	2,268	▲ 898	

計画の前提となる経済フレームにつきまして、昨今の中東情勢の影響を一定程度織り込み、上期の原油価格を1バレル当たり平均100ドル、下期を平均70ドルと想定し、計画を策定しております。

セグメント利益は、▲61億円減の1,950億円と見通しております。

「エネルギー・ソリューション」セグメントのうち、ガスにおいては、ガス料金改定に伴うガス粗利の改善や、25年度の一過性費用の剥落、年金数理差異による費用減、などにより増益があるものの、電力においては、燃調期ずれの剥落、足元の中東情勢を踏まえたJEPX高による調達単価増、発電所修繕や容量市場影響による費用増により減益となります。ソリューションにおいてはエンジニアリング受注減により、当セグメントとしては、▲100億円減の1,402億円と見通しております。

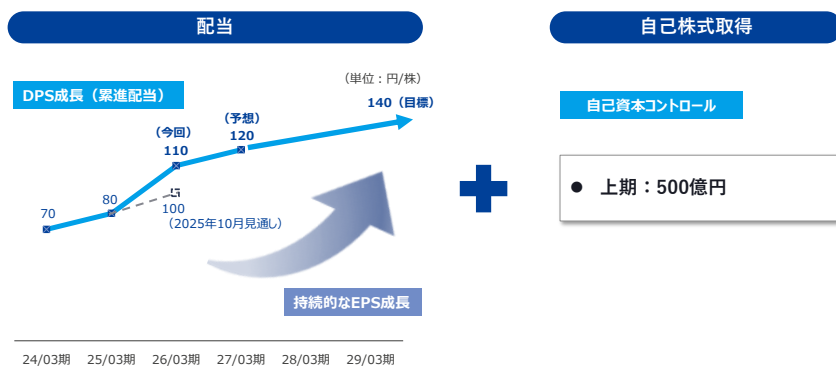
「海外」セグメントでは、25年度に引き続き北米シェール事業における安定収益を見込むことに加えて、一部の持分法適用会社における25年度の一過性収支悪化要因の剥落により、31億円増の769億円を見通しております。

「都市ビジネス」セグメントは、昨年12月に改修が完了し、営業を再開したホテル・パークハイアット東京が、通期で営業することや、パークタワーの大規模修繕費用が低減することにより、83億円増の180億円を見込んでおります。

特別損益は不動産や政策保有株の売却などにより、171億円を見込み、親会社株主に帰属する当期純利益は▲898億円減となる1370億円を見込んでおります。

【2-2 株主還元について】

- 中計で掲げるROE9%達成に向け、利益成長と並行して自己資本コントロールを推進。
- 株主還元については、累進配当により成長の成果を安定的に還元するとともに、資本効率向上のために自己株式取得を実行し、EPS成長およびROE改善を図る。
- 2026年3月期の配当金については、近年の利益成長や自己株式取得による株数減に伴うEPS上昇を踏まえ、2025年10月にお示しした配当予想から更に10円/株増額し、110円/株とする。なお、2027年3月期の配当予想については、120円/株とする。
- 2026年度の自己株式取得については、上期中に500億円を上限として取得する。

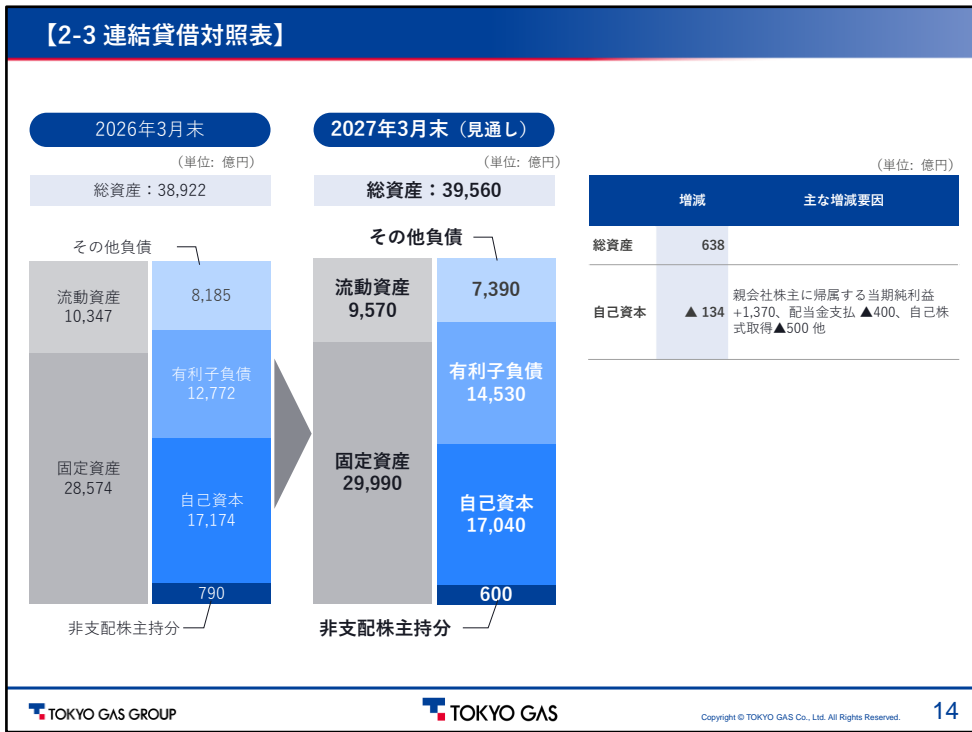


TOKYO GAS GROUP

TOKYO GAS

Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

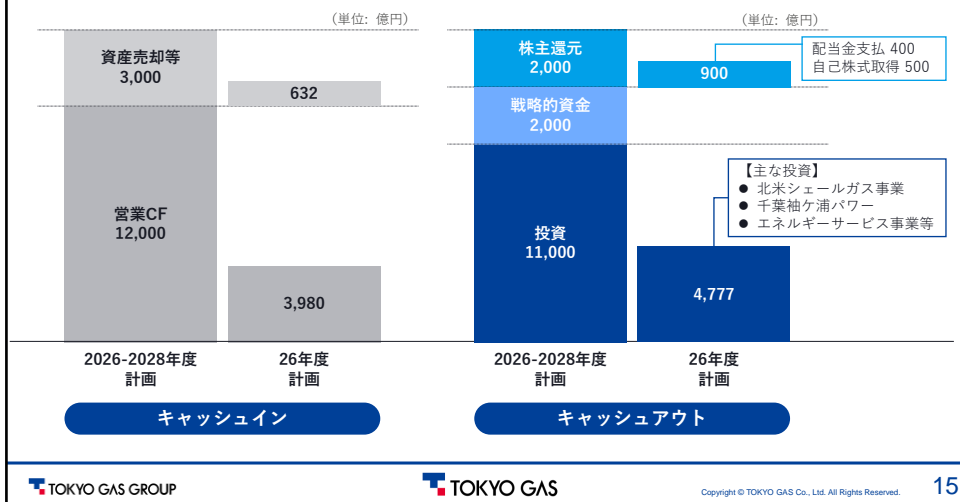
中計で掲げた株主還元方針にもとづき、従来から10円増配し、25年度の年間配当を110円/株、26年度の配当予想を120円/株といたします。また、上期中に500億円の自己株式取得を行うことを決定しました。



2026年3月期末および27年3月期末（見通し）のBSをお示ししております。

【2-4 キャッシュアロケーション】

- 投融資回収・資産売却によるキャッシュインを控除した投資合計は、中期経営計画にインライン水準の4,145億円（グロス投資は4,777億円）。
- 北米シェールガス事業、千葉袖ヶ浦パワーなどをはじめ利益成長、資産効率向上、安定的収益基盤の維持に必要な投資の厳選と、資産の入替を実行。



中計期間のキャッシュアロケーションの進捗をお示ししております。

3

補足資料

[3-1 セグメント概況] エネルギー・ソリューション

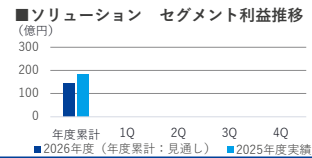
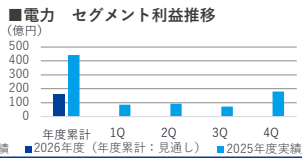
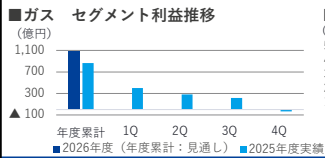
- 25年度実績(対24年度)：ガスの優位な調達やタイムラグ影響に伴う単価差増・気温影響による販売量増、電力の料金適正化による単価差増・気温影響による販売量増等により、増益。
- 26年度見通し(対25年度)：ガスは料金適正化・費用減を見込み増益。電力はJEPX調達単価の増や発電所の大規模修繕による固定費増を見込み減益。ソリューションは地冷の修繕費増やエンジニアリング受注減を見込むもほぼ横ばい。結果として、セグメント全体では、25年度対比で100億円の減益となる見通し。

(単位：億円)

	2025年度		2024年度		増減	%	2026年度		2025年度		増減	%
	実績	実績	実績	実績			見通し	実績	見通し	実績		
売上高	24,861	23,404	1,457	6.2	25,394	24,861	533	2.1				
ガス	15,347	16,164	▲817	▲5.1	15,727	15,347	380	2.5				
電力	6,594	5,981	613	10.3	6,594	6,594	0	0.0				
ソリューション ※2	—	—	—	—	4,434	4,574	▲140	▲3.1				
セグメント利益	1,502	1,217	285	23.5	1,402	1,502	▲100	▲6.7				
(営業利益+持分法損益)	864	715	149	20.8	1,099	864	235	27.1				
ガス	442	241	201	82.9	158	442	▲284	▲64.3				
電力	—	—	—	—	145	185	▲40	▲21.9				
ソリューション ※2	—	—	—	—	—	—	—	—				
減価償却費	668	705	▲36	▲5.2	708	668	40	6.0				
セグメント資産	16,471	15,918	553	3.5	17,060	16,471	588	3.6				
合計	662	785	▲123	▲15.7	1,278	667	611	91.5				
内、25年度成長投資	421	482	▲60	▲12.5	—	—	—	—				
設備投資	255	321	▲66	▲20.6	339	255	84	32.9				
ガス	154	187	▲33	▲17.6	504	154	349	225.9				
電力	—	—	—	—	434	257	177	68.9				
ソリューション ※2	—	—	—	—	—	—	—	—				
合計(25年度成長投資)	104	287	▲183	▲63.7	326	104	221	212.6				
投資(回収含まず)	—	—	—	—	123	—	—	—				
ガス	—	—	—	—	—	—	—	—				
電力	51	246	▲194	▲79.0	57	51	5	10.9				
ソリューション	—	—	—	—	145	—	—	—				

※1 長期前払費用償却を含む

※2 「ソリューション」サブセグメントについて、25年度実績はガス・電力を除く「その他」の事業内容、26年度見通しは26-28中計で示した事業内容で構成



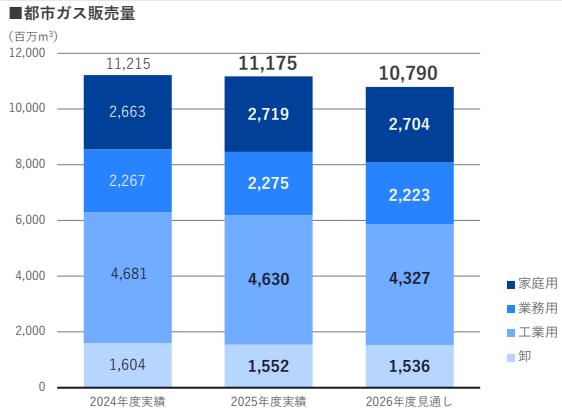
【3-1 セグメント概況】 エネルギー・ソリューション（都市ガス販売量）

詳細はP.27, 35

- 25年度実績(対24年度)：低気温影響等により家庭用・業務用で増加した一方で工業用・卸における減少が上回り、全体では減少。
- 26年度見通し(対25年度)：発電専用需要等の減少を織り込み減少。

2025年度実績
 対24年度
▲40百万m³ (▲0.4%)
 うち気温影響
 +107百万m³ (+1.0%)

2026年度見通し
 対25年度実績
▲385百万m³ (▲3.4%)
 うち気温影響
 +9百万m³ (+0.1%)



■当社（連結）都市ガス 小売お客さま件数推移（万件）

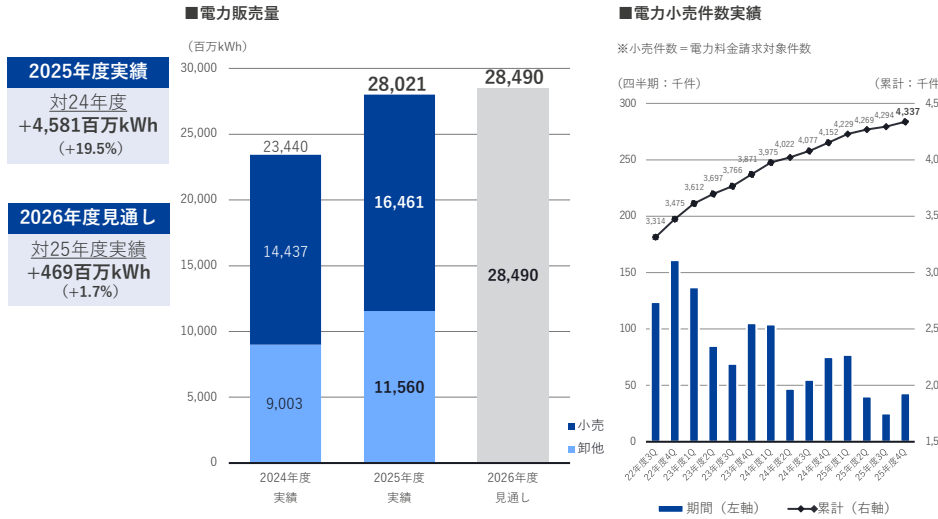
	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3
件数 (増減)	1,026.9	1,020.9	982.1	912.9	886.3	868.8	870.1	878.9	882.6	886.1
	(-)	(▲6.0)	(▲38.8)	(▲69.2)	(▲26.6)	(▲17.5)	(+1.3)	(+8.8)	(+3.7)	(+3.5)

小売全面自由化 (2017.4)

【3-1 セグメント概況】 エネルギー・ソリューション（電力販売量）

詳細はP.27, 35

- 25年度実績(対24年度)：小売の件数増、夏場の高気温影響により増加。
- 26年度見通し(対25年度)：低圧における夏場の高気温影響剥落を織り込む一方で卸販売量の増加を見込み、全体では微増。



【3-1 セグメント概況】 ネットワーク

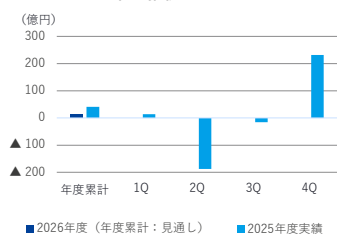
- 25年度実績(対24年度)：託送供給収益増や減価償却費減による増益。
- 26年度見通し(対25年度)：引き続きコスト低減に努める一方、人件費や道路占用料等の増を見込み減益。

(単位：億円)

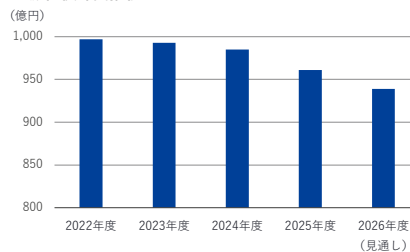
	2025年度 実績	2024年度 実績	増減	%	2026年度 見通し	2025年度 実績	増減	%
売上高	3,344	3,278	66	2.0	3,336	3,344	▲ 8	▲ 0.2
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	41	▲ 31	72	—	12	41	▲ 29	▲ 70.8
減価償却費	961	984	▲ 23	▲ 2.4	* 939	961	▲ 22	▲ 2.3
セグメント資産	6,231	6,373	▲ 142	▲ 2.2	6,090	6,231	▲ 141	▲ 2.3
設備投資	814	862	▲ 48	▲ 5.5	806	814	▲ 7	▲ 1.0

※ 長期前払費用償却を含む

■セグメント利益推移



■減価償却費推移



【3-1 セグメント概況】海外

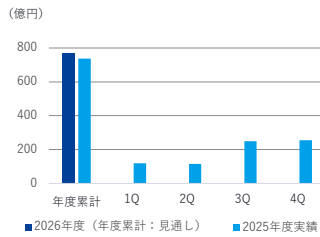
- 25年度実績(対24年度)：北米シェール販売単価増により増益。
- 26年度見通し(対25年度)：引き続き北米シェールガス事業はヘッジや低コストオペレーションにより安定的な利益を見込むほか、北米中下流事業の市況活用・25年度一過性利益悪化要因の剥落による持分法利益回復を見込み増益。

(単位：億円)

	2025年度 実績	2024年度 実績	増減	%	2026年度 見通し	2025年度 実績	増減	%
売上高	2,414	1,812	602	33.2	2,448	2,414	34	1.4
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	738	228	510	222.9	769	738	31	4.1
減価償却費	903	845	58	6.9	*856	903	▲47	▲5.3
セグメント資産	11,667	11,953	▲286	▲2.4	12,510	11,667	842	7.2
設備投資	1,397	1,306	91	7.0	1,661	1,397	263	18.9
投融資	135	58	77	131.1	490	135	354	260.8

※ 長期前払費用償却を含む
(参考) 円・ドル為替レート：24年度4Q(12月末)実績158.17円、25年度4Q(12月末)実績156.54円、26年度見通し155円

■セグメント利益推移



■北米シェールガス事業における参考データ

確認済埋蔵量 (Tcfe) ※1	4.8	
※1 2025年12月末時点	2026年度見通し	2025年度実績
生産量 (Bcfe/日)	1.1	1.2
操業費用 (\$/mcf) ※2	1.1	1.0
設備投資 (百万米ドル/年)	1,059	791
※2 操業費用：リース操業費、集積・輸送費、生産/従価税、一般管理費	2026年度見通し	
想定ヘンリーハブ価格 (\$/MMBtu) ※3	3.8	
ヘッジ割合 (%)	約75	
価格感応度 (EBIT (百万米ドル) ±\$0.1/MMBtu)	±10	
※3 1MMBtu ≒ 1Mcf		

【3-1 セグメント概況】都市ビジネス

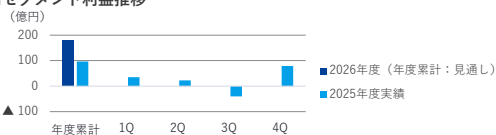
- 25年度実績(対24年度)：パークハイアット東京改修（2025年12月9日オープン済）関連費用増に伴い減益。
- 26年度見通し(対25年度)：パークハイアット東京の大規模改修完了・通年稼働（25年度は4か月分の収入）およびキャピタルリサイクルのための販売用不動産の売却（セグメント利益計上）の加速により、増益。

(単位：億円)

	2025年度		2024年度		増減	%	2026年度		2025年度		増減	%
	実績	実績	実績	実績			見通し	実績				
計	734	778	▲44	▲5.6	966	734	232	31.5				
セグメント売上高												
賃貸等	603	587	16	2.7	708	603	105	17.4				
売却	130	190	▲60	▲31.5	257	130	127	96.9				
固定資産（不動産）売却	383	19	364	—	103	383	▲280	▲73.0				
(参考) 事業売上高	1,117	798	319	40.0	1,069	1,117	▲48	▲4.3				
売却 計	513	210	303	144.1	360	513	▲153	▲29.8				
計	97	240	▲143	▲59.4	180	97	83	84.7				
セグメント利益												
賃貸等	36	125	▲89	▲70.7	89	36	53	143.0				
売却益	60	114	▲54	▲47.1	90	60	30	49.3				
固定資産（不動産）売却	369	14	355	—	82	369	▲287	▲77.8				
(参考) 事業利益	466	254	212	83.5	262	466	▲204	▲43.8				
売却益 計	429	128	301	234.5	172	429	▲257	▲59.9				
減価償却費	119	115	4	3.8	*141	119	21	18.1				
計	3,437	3,279	157	4.8	3,550	3,437	112	3.3				
セグメント資産												
賃貸用等	2,983	2,879	104	3.6	3,060	2,983	76	2.6				
販売用	453	400	53	13.5	490	453	36	7.9				
設備投資	221	258	▲37	▲14.2	147	221	▲74	▲33.6				
投融資	2	76	▲74	▲96.7	100	2	97	3,812.9				

※ 長期前払費用償却を含む

■セグメント利益推移



【3-2 実績 対 前年度】売上・利益等

(+/-▲は利益に対する影響を示す、単位：億円)

	2025年度実績	2024年度実績	増減	%
売上高	28,347	26,368	1,979	7.5
営業利益	1,976	1,330	646	48.5
セグメント利益（営業利益+持分法損益）	2,011	1,386	625	45.1
経常利益	1,937	1,135	802	70.5
特別損益	954	▲73	1,027	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,268	741	1,527	205.8
気温影響	▲61	▲128	67	—
タイムラグ影響	181	98	83	—
補正項目				
都市ガス	106	73	33	—
(経常ベース) LNG販売	31	8	23	—
電力	44	17	27	—
年金数理差異償却額	161	103	58	—

■参考：経済フレーム、気温

	2025年度実績	2024年度実績	増減	%
為替レート (¥/\$)	150.67	152.62	▲1.95	▲1.3
原油価格 (\$/bbl)	71.41	82.41	▲11.00	▲13.3
平均気温 (°C)	17.4	17.6	▲0.2	—

■参考：年金（期待運用収益率：2%）

	2025年度
運用利回り	3.91%
※コスト控除後	
期末資産（億円）	2,335

【3-2 実績対前年度】セグメント別 売上高・利益

(単位：億円)

	売上高 ^{※5}				セグメント利益 (営業利益+持分法損益)			
	2025年度 実績	2024年度 実績	増減	%	2025年度 実績	2024年度 実績	増減	%
エネルギー・ソリューション ^{※1} (持分法損益含む)	24,861	23,404	1,457	6.2	1,502	1,217	285	23.5
ガス ^{※2}	15,347	16,164	▲ 817	▲ 5.1	864	715	149	20.8
電力	6,594	5,981	613	10.3	442	241	201	82.9
ネットワーク	3,344	3,278	66	2.0	41	▲ 31	72	—
海外	2,414	1,812	602	33.2	738	228	510	222.9
(持分法損益)	—	—	—	—	31	39	▲ 8	▲ 20.9
都市ビジネス (持分法損益含む)	734	778	▲ 44	▲ 5.6	97	240	▲ 143	▲ 59.4
売却 ^{※3}	130	190	▲ 60	▲ 31.5	60	114	▲ 54	▲ 47.1
調整額 ^{※4}	▲ 3,006	▲ 2,905	▲ 101	—	▲ 367	▲ 268	▲ 99	—
セグメント合計額	28,347	26,368	1,979	7.5	2,011	1,386	625	45.1
(持分法損益)	—	—	—	—	35	55	▲ 20	▲ 36.7

※1 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」「電力」「エンジニアリングソリューション」等を含む

※2 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」を含む

※3 営業外・特別損益に計上の固定資産(不動産)売却額・売却損益を含む金額はP.21を参照

※4 セグメント利益の「調整額」の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用

※5 セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含む

【3-2 実績 対 前年度】経常利益分析

(単位：億円)

		事業活動関連	補正項目	一過性/評価性要因
2025年度 1,937 差異 +802 (+70.5%) 2024年度 1,135	セグメント利益 +625 (+45.1%) 2,011-1,386	●ガス +149 >都市ガス粗利増 +224 ・数量差等 (気温影響以外) +124 (売上高) ▲652：数量差等+43、単価差▲695 (原材料費等) +875：フレーム影響による調達費等減 (為替+63、油価+383) >都市ガス固定費増 ▲59 >LNG販売・トレーディング利益減 ・タイムラグ影響 (LNG販売) +23	・数量差 (気温影響) +67 ・タイムラグ影響 +33	
	エネルギー・ソリューション +285 (+23.5%) 1,502-1,217	●電力 +201 >電力粗利増 +103 ・数量差 +203 (小売・卸の販売量増等) ・単価差 (燃調期ずれ以外) ▲127 (売上高) +562：小売+201 (数量差+395、単価差▲194) 卸他+361 (数量差+551、単価差▲190) (調達費) ▲459：数量差▲743、単価差+284	・燃調期ずれ +27	固定費減等 +106
	ネットワーク +72 (-) 41-▲31	>固定費増等		
	海外 +510 (+222.9%) 738-228	・託送供給収益増等 +72		
	都市ビジネス ▲143 (▲59.4%) 97-240	・TGアメリカグループ利益増 +521※ (773-252：北米シェールガス事業のガス価格 上昇およびヘッジ影響に伴う販売単価増等) ※数値は連結消去前の会社単価合算、持分法利益 除く。また別記の海外為替影響を含む。		・持分法利益減 ▲8 (北米火力発電事業等) ・海外為替影響 ▲3 (156.54-158.17円/\$)
	連結調整等 ▲99	・全社費用増		・不動産売却益減 ▲54 ・修繕工事関連費用増 ▲43 ・持分法利益減 ▲23 等
	営業外損益 +177 ※持分法損益除く			・支払利息減 +107 ・デリバティブ利益 +67 等

※符号は利益に対する影響を示す

【3-2 実績対前年度】資産、キャッシュ・フロー等

(単位：億円)

	2025年度実績	2024年度実績	増減	%
総資産	38,922	38,550	372	1.0
自己資本	17,174	17,254	▲80	▲0.5
自己資本比率	44.1%	44.8%	▲0.7%	—
ハイブリッド社債・ローン考慮後	45.2%	45.8%	▲0.6%	—
有利子負債残高	12,772	13,362	▲590	▲4.4
(内) ハイブリッド社債・ローン	833	833	—	—
D/Eレシオ	0.74	0.77	▲0.03	—
ハイブリッド社債・ローン考慮後	0.70	0.73	▲0.03	—

(単位：億円)

	2025年度実績	2024年度実績	増減	%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,268	741	1,527	205.8
減価償却費 ^{※1,2}	2,705	2,682	23	0.9
営業キャッシュ・フロー ^{※3}	4,974	3,424	1,550	45.3
設備投資 ^{※1}	3,088	3,207	▲119	▲3.7
投融资(相殺後)	▲136	▲751	615	—

※1 設備投資・減価償却費は内部取引相殺後

※2 減価償却費には長期前払費用償却を含む

※3 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「親会社株主に帰属する当期純利益+減価償却費」と定義した簡便法で算定

【3-2 実績 対 前年度】各種財務指標

	2025年度実績	2024年度実績	増減	%
総資本回転率 ^{※1} (回転)	0.73	0.68	0.05	—
ROA ^{※1} (%)	5.9%	1.9%	3.9%	—
ROE ^{※1} (%)	13.2%	4.3%	8.8%	—
WACC (%)	3.4%	3.2%	0.2%	—
1株当たり当期純利益 (円/株)	654.76	192.22	462.54	240.6
1株当たり純資産 (円/株)	5,151.08	4,669.38	481.70	10.3
総還元性向 ^{※2,3}	—	202.5%	—	—

※1 総資産・自己資本は期中平均値で算定

※2 n年度総還元性向 = ((n年度の年間配当金総額) + (n+1年度の自己株式取得額)) ÷ (n年度連結当期純利益)

※3 資本政策として行った自己株式取得を除いた総還元性向は2024年度40.7%

【3-2 実績 対 前年度】販売量・件数

	2025年度実績	2024年度実績	増減	%
ガス販売量 (百万m ³)	15,612	15,686	▲ 74	▲ 0.5
都市ガス販売量	11,175	11,215	▲ 40	▲ 0.4
家庭用	2,719	2,663	56	2.1
業務用	2,275	2,267	8	0.3
工業用	4,630	4,681	▲ 51	▲ 1.1
一般工業用	2,778	2,860	▲ 82	▲ 2.9
発電専用	1,852	1,821	31	1.7
卸	1,552	1,604	▲ 52	▲ 3.2
LNG販売量 (千t)	1,822	1,696	126	7.4
LNG販売量 (百万m ³ 換算)	2,277	2,121	156	7.4
トーリングによるガス自家使用量 (百万m ³)	2,160	2,350	▲ 190	▲ 8.1
取付メーター数 (千件) ※	12,693	12,564	129	1.0

※ 導管事業者としてのメーター取付数

■ 家庭用 +56百万m ³ (+2.1%)		■ 業務用 +8百万m ³ (+0.3%)		■ 卸 ▲52百万m ³ (▲3.2%)	
気温要因	+73百万m ³	気温要因	+26百万m ³	気温要因	+8百万m ³
日数影響	▲1百万m ³	日数影響	▲11百万m ³	その他	▲60百万m ³
お客さま件数	+8百万m ³	お客さま件数	+30百万m ³	その他	卸供給先の需要減等
その他	▲24百万m ³	その他	▲37百万m ³		

	2025年度実績	2024年度実績	増減	%
電力販売量 (百万kWh)	28,021	23,440	4,581	19.5
小売	16,461	14,437	2,024	14.0
卸他	11,560	9,003	2,557	28.4

【3-2 実績 対 前年度】ガス粗利分析

(単位：億円)

	2025年度実績	2024年度実績	増減	%
ガス等売上	11,910	12,562	▲ 652	▲ 5.2
ガス原材料費	7,388	8,263	▲ 875	▲ 10.6
ガス粗利	4,523	4,299	224	5.2

↓

数量差等	191
気温影響	67
その他	124
タイムラグ影響	33

【3-2 実績 対 前年度】主要連結子会社実績

(単位：億円)

社名		2025年度実績	2024年度実績	増減	%
売上高	東京ガス	20,727	22,394	▲1,667	▲7.4
	東京ガスエンジニアリングソリューションズグループ ^{※1}	2,355	2,263	92	4.1
	TGアメリカグループ ^{※1}	2,436	1,806	630	34.9
	その他連結子会社	15,007	10,316	4,691	45.5
	連結子会社計	19,799	14,386	5,413	37.6

社名		2025年度実績	2024年度実績	増減	%
営業利益	東京ガス	667	509	158	31.1
	東京ガスエンジニアリングソリューションズグループ ^{※1}	196	178	18	10.4
	TGアメリカグループ ^{※1,2}	766	233	533	228.3
	その他連結子会社	240	531	▲291	▲54.8
	連結子会社計	1,203	943	260	27.6

※1 数値は連結消去前の各社単純合算
 ※2 持分法損益含む

【3-3 見通し 対前年度】 売上・利益等

(単位：億円)

	2026年度見通し	2025年度実績	増減	%
売上高	29,470	28,347	1,123	4.0
営業利益	1,860	1,976	▲116	▲5.9
セグメント利益（営業利益＋持分法損益）	1,950	2,011	▲61	▲3.1
経常利益	1,730	1,937	▲207	▲10.7
特別損益	171	954	▲783	▲82.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,370	2,268	▲898	▲39.6
気温影響	0	▲24	24	—
タイムラグ影響	167	181	▲14	—
補正項目	176	106	70	—
（経常ベース）				
LNG販売	▲1	31	▲32	—
電力	▲8	44	▲52	—
年金数理差異償却額	214	161	53	—

■参考：経済フレームム、気温

	2026年度見通し	2025年度実績	増減	%
為替レート（¥/\$）	155	150.67	4.33	2.9
原油価格（\$/bbl）	※85.00	71.41	13.59	19.0
平均気温（℃）	16.9	17.4	▲0.5	—

※上期平均：\$100/bbl、下期平均：\$70/bbl

■参考：年金（期待運用収益率：2%）

	2025年度	2024年度	2023年度
運用利回り	3.91%	0.01%	2.21%
※コスト控除後			
割引率	年金分 2.95%	1.94%	1.15%
	一時金分 2.24%	1.35%	0.63%
期末資産（億円）	2,335	2,330	2,400

【3-3 見通し 対前年度】セグメント別 売上高・利益

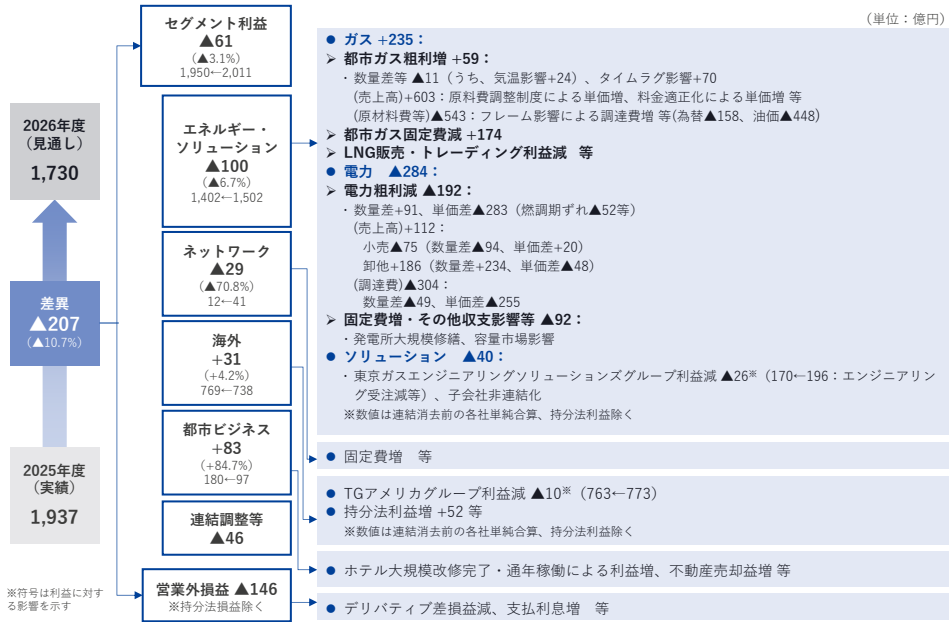
(単位：億円)

	売上高 ^{※6}				セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)			
	2026年度 見通し	2025年度 実績	増減	%	2026年度 見通し	2025年度 実績	増減	%
エネルギー・ソリューション (持分法損益含む) ^{※1}	25,394	24,861	533	2.1	1,402	1,502	▲100	▲6.7
ガス ^{※2}	15,727	15,347	380	2.5	1,099	864	235	27.1
電力	6,594	6,594	0	▲0.0	158	442	▲284	▲64.3
ソリューション ^{※3}	4,434	4,574	▲140	▲3.1	145	185	▲40	▲21.9
ネットワーク	3,336	3,344	▲8	▲0.2	12	41	▲29	▲70.8
海外	2,448	2,414	34	1.4	769	738	31	4.1
(持分法損益)	—	—	—	—	83	31	52	167.2
都市ビジネス (持分法損益含む)	966	734	232	31.5	180	97	83	84.7
売却 ^{※4}	257	130	127	96.9	90	60	30	49.3
調整額 ^{※5}	▲2,674	▲3,006	332	—	▲413	▲367	▲46	—
セグメント合計額	29,470	28,347	1,123	4.0	1,950	2,011	▲61	▲3.1
(持分法損益)	—	—	—	—	91	35	56	159.8

※1 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」「電力」「エンジニアリングソリューション」等を含む
 ※2 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」を含む
 ※3 25年度実績はガス・電力を除く「その他」の事業内容、26年度見通しは26-28中計で示した事業内容で構成
 ※4 営業外・特別損益に計上の固定資産(不動産)売却額・売却損益を含む金額はP.21を参照
 ※5 セグメント利益の「調整額」の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用
 ※6 セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含む

[3-3 見通し対前年度] 経常利益分析

(単位：億円)



【3-3 見通し 対前年度】資産、キャッシュ・フロー等

(単位：億円)

	2026年度見通し	2025年度実績	増減	%
総資産	39,560	38,922	638	1.6
自己資本	17,040	17,174	▲134	▲0.8
自己資本比率	43.1%	44.1%	▲1.0%	—
ハイブリッド社債・ローン考慮後	44.1%	45.2%	▲1.1%	—
有利子負債残高	14,530	12,772	1,758	13.8
(内) ハイブリッド社債・ローン	833	833	0	—
D/Eレシオ	0.85	0.74	0.11	—
ハイブリッド社債・ローン考慮後	0.81	0.70	0.11	—

(単位：億円)

	2026年度見通し	2025年度実績	増減	%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,370	2,268	▲898	▲39.6
減価償却費 ^{※1,2}	2,610	2,705	▲95	▲3.5
営業キャッシュ・フロー ^{※3}	3,980	4,974	▲994	▲20.0
設備投資 ^{※1}	3,860	3,088	772	25.0
投融资（相殺後）	377	▲136	513	—

※1 設備投資・減価償却費は内部取引相殺後

※2 減価償却費には長期前払費用償却を含む

※3 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「親会社株主に帰属する当期純利益+減価償却費」と定義した簡便法で算定

【3-3 見通し 対 前年度】 各種財務指標

		2026年度見通し	2025年度実績	増減	%
総資本回転率 ^{※1}	(回転)	0.75	0.73	0.02	—
ROA ^{※1}	(%)	3.5%	5.9%	▲2.4%	—
ROE ^{※1}	(%)	8.0%	13.2%	▲5.2%	—
WACC	(%)	4.3%	3.4%	0.9%	—
1株当たり当期純利益	(円/株)	418.07	654.76	▲236.69	▲36.1
1株当たり純資産	(円/株)	5,229.95	5,151.08	78.87	1.5

※1 総資産・自己資本は期中平均値で算定

【3-3 見通し 対前年度】販売量・件数

	2026年度見通し	2025年度実績	増減	%
ガス販売量 (百万m ³)	15,135	15,612	▲ 477	▲ 3.1
都市ガス販売量	10,790	11,175	▲ 385	▲ 3.4
家庭用	2,704	2,719	▲ 15	▲ 0.6
業務用	2,223	2,275	▲ 52	▲ 2.3
工業用	4,327	4,630	▲ 303	▲ 6.5
一般工業用	2,867	2,778	89	3.2
発電専用	1,460	1,852	▲ 392	▲ 21.2
卸	1,536	1,552	▲ 16	▲ 1.0
LNG販売量 (千t)	1,264	1,822	▲ 558	▲ 30.6
LNG販売量 (百万m ³ 換算)	1,580	2,277	▲ 697	▲ 30.6
トーリングによるガス自家使用量 (百万m ³)	2,765	2,160	605	28.0
取り付けメーター数 (千件) [※]	12,790	12,693	97	0.8
<small>※ 導管事業者としてのメーター取付数</small>				
電力販売量 (百万kWh)	28,490	28,021	469	1.7
小売	—	16,461	—	—
卸他	—	11,560	—	—

【3-3 見通し 対 前年度】 ガス粗利分析

	2026年度見通し	2025年度実績	増減	(単位：億円)
				%
ガス等売上	12,513	11,910	603	5.1
ガス原材料費	7,931	7,388	543	7.4
ガス粗利	4,582	4,523	59	1.3

↓

数量差等	▲ 11
気温影響	24
その他	▲ 35
タイムラグ影響	70

【3-3 見通し 対 前年度】 主要連結子会社実績

(単位：億円)

社名		2026年度見通し	2025年度実績	増減	%
売上高	東京ガスエンジニアリングソリューションズグループ ^{※1}	2,434	2,355	79	3.4
	TGアメリカグループ ^{※1}	2,467	2,436	31	1.3
	その他連結子会社	14,987	15,007	▲20	▲0.1
	連結子会社計	19,890	19,799	91	0.5

社名		2026年度見通し	2025年度実績	増減	%
営業利益	東京ガスエンジニアリングソリューションズグループ ^{※1}	170	196	▲26	▲13.2
	TGアメリカグループ ^{※1,2}	800	766	34	4.4
	その他連結子会社	280	240	40	16.8
	連結子会社計	1,251	1,203	48	4.0

※1 数値は連結消去前の各社単純合算
 ※2 持分法損益含む

【3-4 2023-2025年度中計投資計画・実績】

(単位: 億円)

		23-25年度累計		単年度実績		
		中計目標	実績	2025年度	2024年度	2023年度
投資	成長投資	6,500	8,555	2,284	2,470	3,801
	内脱炭素関連	2,300	1,330	254	371	703
	基盤投資	3,500	3,229	1,055	1,165	1,008
	連結調整等	—	▲ 18	▲ 7	▲ 4	▲ 5
	計 (回収含まず)	10,000	11,767	3,331	3,630	4,804
	計 (回収分含む)	10,000	9,089	2,791	2,424	3,874

【3-5 資産構成の変化】

(単位: 億円)

	2026年3月末	構成比	2025年3月末	構成比	増減	%	備考
【資産の部】							
流動資産	10,347	26.6%	10,471	27.2%	▲ 124	▲ 1.2	現金及び預金▲572、受取手形、売掛金及び 契約資産▲175、その他流動資産+428、原材 料及び貯蔵品+118
固定資産	28,574	73.4%	28,079	72.8%	495	1.8	(有形・無形固定資産) 償却▲2,642、減損▲ 288、為替▲76、設備投資+3,088 (投資その他の資産) 投資有価証券+461、そ の他投資+382
資産合計	38,922	100.0%	38,550	100.0%	372	1.0	
【負債の部】							
有利子負債	12,772	32.8%	13,362	34.7%	▲ 590	▲ 4.4	(コア・クレジット・バ) 償還▲12,650、発行+ 13,050 (長期借入金) 返済▲2,004、新規借入+ 1,042
退職給付に係る負債	516	1.3%	581	1.5%	▲ 65	▲ 11.2	
支払手形・買掛金	1,051	2.7%	1,025	2.7%	26	2.5	
その他負債	6,616	17.0%	5,565	14.4%	1,051	18.9	デリバティブ債務+819
負債合計	20,957	53.8%	20,536	53.3%	421	2.0	
【純資産の部】							
株主資本	13,964	35.9%	14,039	36.4%	▲ 75	▲ 0.5	自己株式取得▲1,999、配当金支払▲341、親 会社株主に帰属する当期純利益+2,268
その他包括利益累計額	3,210	8.2%	3,214	8.3%	▲ 4	▲ 0.1	為替換算調整勘定▲600、其他有価証券評 価差額金+382、繰延ヘッジ損益+178
非支配株主持分	790	2.0%	760	2.0%	30	4.0	
純資産合計	17,965	46.2%	18,014	46.7%	▲ 49	▲ 0.3	自己資本比率44.1%(2026/03末) →44.8% (2025/03末)
負債・純資産(資本)合計	38,922	100.0%	38,550	100.0%	372	1.0	

【3-6 原油価格・為替レート変動の粗利影響感度（都市ガス）】

■原油価格JCCが\$1/bbl上昇する場合 【ベース原油価格】 上期平均：\$100/bbl、下期平均：\$70/bbl
(単位：億円)

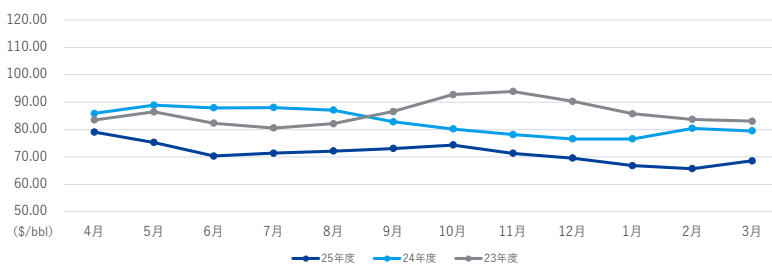
変動時期	収支影響時期					年度計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	
第1四半期	0	▲4	4	3	3	(売上高16、原料▲13)
第2四半期	0	0	▲4	5	1	(売上高13、原料▲12)
第3四半期	0	0	▲1	▲9	▲10	(売上高4、原料▲14)
第4四半期	0	0	0	▲1	▲1	(売上高0、原料▲1)
通期	0	▲4	▲1	▲2	▲7	(売上高33、原料▲40)

■円ドルレートが¥1/\$円安になる場合 【ベース為替レート】 通期：155円/\$
(単位：億円)

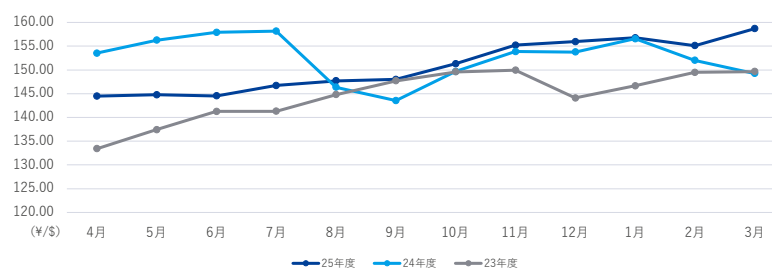
変動時期	収支影響時期					年度計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	
第1四半期	▲4	3	1	0	0	(売上高9、原料▲9)
第2四半期	0	▲5	5	2	2	(売上高15、原料▲13)
第3四半期	0	0	▲6	6	0	(売上高12、原料▲12)
第4四半期	0	0	0	▲8	▲8	(売上高2、原料▲10)
通期	▲4	▲2	0	0	▲6	(売上高38、原料▲44)

【3-7 原油価格・為替レート・気温】

■原油価格 (JCC)

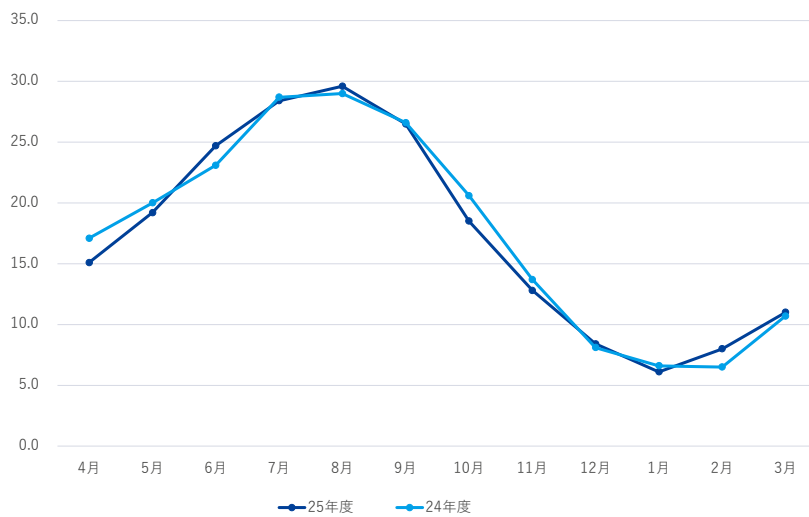


■為替レート



【3-7 原油価格・為替レート・気温】

■ 気温



【3-8 タイムラグ差損益（都市ガス）】

■タイムラグ差損益（都市ガス）のイメージ

